

Bellflower



神戸薬科大学

図書館ニュース

No.46 2015. 4



Part 1 (新着資料から)

〈BOOK〉『日本語大事典』

(朝倉書店 2014)

スイスの言語学者ソシュールの没後 100 年目に出版されたこの魅力的な大事典は、21 世紀初頭における現代日本語研究の集大成で、日本人の凄技の結晶でもある。これは日本語の語彙を集めた「ことば典」ではなく、日本語の奥深い世界を地球規模で眺め、その過去と現状を緻密に記述した複合的でグローバルな「こと典(用語典)」である。歴史軸に沿って眺めた日本語の姿と、その学際的な領域の用語を含む事典であり、「日本語学(旧名、国語学)」や「言語学」を中心に、「日本文学(史)」や「日本(文化)史」等の用語をもカバーするのが特徴である。グローバルな項目として、世界の主要言語名や研究者名も多数収録されている。各項目には英語訳

が付され、外国人研究者への配慮も行き届いている。古今の文芸作品名も多数収録されていて、その粗筋を調べたい時に便利だし、作家名も豊富である。筆者にとっては「目から鱗」の項目がなんと多いことか。明治時代にも多くの恋愛小説があって、「魔風恋風」とか「多情多恨」等を読んでみたくなった。勿論、「メール言語」や「若者語」、「インターネットと日本語」等の現代風項目も充実している。なぜか「勝海舟」という項目があり、その執筆者は外国人であるのがまた面白い。因みに筆者も 1 項目(ラトヴィア語)だけ寄稿しているので機会があればご笑読のほどを。

特別教授 田中 研治

〈DVD〉『人体を学ぶための理科 生物編・化学編』

(医学映像教育センター 2011-14 各3巻)

「人体を学ぶための理科」というと、生物学をイメージする人が多いのではないのでしょうか。しかし、私たちの体や生命活動を理解するためには、化学、生物、物理などの基本的な学問が必要になってきます。この DVD は高校までに履修する生物、化学の中から、人体に関係する内容を中心に分かりやすく映像化しています。化学や生物を選択せずに医療系の大学に進学したり、履修したけれど再学習したい学生が基礎から勉強するのに良い教材だと思います。収録時間は 30~39 分で、生物編のタイトルは、「細胞」と「発生と生殖」と「遺伝」、化学編のタイトルは、「原子」と「化学反応」と「酸と塩基」です。生物編では、細胞発見の歴史や基本構造、

動物細胞と植物細胞の違いや増殖について、また、命はどのようにして誕生するのか、生殖細胞の形成と受精や発生の仕組み、遺伝の法則や染色体と遺伝子の構造や特徴などがわかりやすく映像化されています。次に、化学編では、生命の源である原子の構造、結合の違い、化学式、酸と塩基の定義や強さ、電離平衡、緩衝作用、また、体の中の緩衝作用や pH についても解説されています。全体的にわかりやすい絵を使っているので、頭の中でイメージしやすく、大学基礎科目を理解するための補助として有効利用してください。

教授 小山 淳子
(薬学基礎教育センター)

もくじ

C O O N T E N T S

ブックガイド part1 (新着資料から)	
田中研治・小山淳子	1
ブックガイド part2 (専門分野別) 森脇健介	2
考えた? 伝わった? 情報を横流しするのではなく、 考え、伝える力を育もう!	
土生康司	3
受入図書から	4~5
書くことで見えてくるもの	6
本が書架(棚)に並ぶまで・ グラフと表で見る図書館統計	7
薬剤師のための DI 資料(29) 杉山正敏	8
2015 年度学術雑誌について・お知らせ	8



part 2 (専門分野別)
BOOK GUIDE

『統計学に慣れ親しむために』

講師 森脇 健介
(医療統計学研究室)



私の担当する医療統計学などの科目では、臨床研究で検証された科学的根拠（エビデンス）を正しく解釈し、臨床現場での意思決定に活用するための知識や技能の習得を目標としています。「Evidence-based medicine (EBM)：科学的根拠に基づく医療」の考え方や方法論が整理・導入されて以降、いまや医師や薬剤師をはじめとする医療専門職にとって統計学や臨床研究の方法論に対する理解は欠かせないものになっています。しかしながら、本学に限らず学生さんからは「統計学ってよく分かりません、苦手（というか嫌い）です！」といった声をよく聞きます。統計アレルギーの原因や症状によっておすすめしたい本は少し変わりますが、ここでは「統計学の考え方」について理解を助けてくれる参考書を紹介したいと思います。

要するにそういうことか 統計学の考え方 浅野 晃 (著)

本書の特徴は、確率分布モデルや標本抽出理論、仮説検定、区間推定、相関・回帰といった統計学のエッセンスを“最小限の数式”と“わかりやすい言葉”で説明していることです。ページをめくってみるとわかりますが、本当に数式が少なく言葉による解説が中心です。理論の説明には学部を問わず理解しやすい身近な事例が用いられているため、苦勞なく読み進めることができます。統計学における計算方法の解説に終始し、考え方にほとんど触れない本も多い中、本書は統計学の考え方を丁寧にわかりやすく解説した良い入門書だと思います。学部生だけでなく大学院生、若手研究者にもおすすめしたい1冊です。きっと読めばあなたも「要するにそういうことか」と思ってもらえるはずですよ。

『医療統計』わかりません!! 五十嵐 中 (著), 佐條 麻里 (著)

本書も統計学の入門書ですが、基礎知識だけでなく医療分野での応用を視野に入れ、臨床研究のデザインや検査診断などのトピックもカバーしています。本書は生徒役の「さじょーさん」からの素朴な疑問を、先生役の「あたる先生」がわかりやすく解説する形式で記載されており、2人のやり取りを追いながらトピックについて理解を深めることができます。

小難しい統計学の用語や言い回しにも、あたる先生流のやわらかくて感覚的にわかりやすい表現が用いられており、初学者のつまずきを減らしてくれるように思います。

わかってきたかも!?『医療統計』

五十嵐 中 (著), 佐條 麻里 (著), 高瀬義昌 (著)

『「医療統計」わかりません!!』で基礎固めができたなら、今度は続編に進みましょう。多重比較から分散分析、重回帰、ロジスティック回帰、生存時間解析など、臨床研究で用いられる標準的な手法を、前作と同様に会話形式で解説しています。本文に出てくる専門用語にも親切な注釈がつけられており、つまずきにくい工夫がされています。また、臨床研究論文の読み方や統計手法を用いる場合の問題点も丁寧に説明しています。多重比較や多変量解析については近年、国家試験においても出題されるようになってきているので、本書を参考に、「どんな方法か、どういうときに使うのか、結果をどう解釈するのか」程度を押さえておくとよいと思います。

統計学を拓いた異才たち—経験則から科学へ進展した一世紀

David S. Salsburg (原著), 竹内 恵行 (翻訳)

本書は元 米ファイザー社の統計家 サルツブルグ氏の視点から描かれたひとつの統計学史であり、近代統計学が確立する過程が、それに貢献した統計学者の人間味あふれるエピソードとともに書きつづられています。

「…実際には騒々しい時間が過ぎた。というのも、フィッシャーは二階で大騒ぎするし、そのかたわらにネイマン、もう片方にはカール・ピアソンがいて、1週間おきにゴセットもやって来たからである。… (F.N. デイヴィッド)」

K.ピアソン（相関係数など）やR.A. フィッシャー（実験計画法など）、J. ネイマン（仮説検定など）、W.S. ゴセット（Student-t 検定など）をはじめ、教科書にも出てくる近代統計学の開拓者たちの素顔や思想が描かれています。また、「実生活に応用する際の確率の意味とは?」「意思決定に統計モデルは利用できるのか?」といった哲学的な問題についても触れており、やや難解かもしれませんが興味深い1冊です。

考えた? 伝わった?

情報を横流しするのではなく、
考え、伝える力を育もう!講師 土生 康司
(情報支援室)

甘えん坊ではっちゃけ坊や。私の次男のことで、次男らしいと言えるが、考えていた以上にしばしば駄々をこね、はじけている。たまに度が過ぎたことをし、ここぞとばかりに普段は慎重派の兄も男の子らしく悪乗りするので、「まだまだ幼い。」とわかっていても、ついつい叱りすぎてしまうことがある。「叱りすぎた…」と後悔するのだが、このようなことは多くの親が通る道であるようで、スーパー育児ママ執筆の本を読むと「常に理想的な親である必要はない。」と慰めてくれる。「その通り、まだ親としての成長段階だ。」と気持ちを切り替え、ありがたく言われるがまま癒されている。また、私はスポーツ観戦が好きであり、選手の頑張りや悔し涙に純粋に共感し、なされるがまま心動かされることがある。もし自分がプロスポーツ選手なら、気軽にスポーツ観戦を楽しんではいられなかったと思う。単純に感情に流されるだけではなく、プレーの質や準備の仕方などをよく見て考察し、自分の成長につなげていかなければ、プロとしての地位を失うため、必死に何かを真似よう、盗もうと考えているはずである。特に超一流と言われる選手は単に肉体的に優れているだけではなく、インタビューで紡ぐ言葉に強い意志や鋭い感性があふれていることから分かるように、高い思考力を持ち合わせ、競技に活かしているからこそ超一流になったのであろう。思考力を養うために最も身近で有用な一手段が読書であろう。次のように視点を変えるだけで、同じ本でも最低二度は「考える」機会を与えてくれる。まず、著者の意見に共感できるかを、自分がこれまで持っている知識等に照らし合わせて考えることができる。また、本を通して何かを伝えようとする著者の物事のとらえ方、切り口の良さを察することも、自分の視野を広げ考える力とその考えを表現する力を育んでくれるだろう。また、自ら気づき考える機会を作れるならば読書に頼らなくて良いが、自動的に情報が流れていくテレビとは異なり、自分のペースで進めていくことができるのは読書の良い点であろう。

薬剤師や研究者など薬に関するプロとなる学生の皆さん

は、卒後も医療について考える機会を作っていかなければならない。そこで、まずお勧めしたい書籍は「科学技術をよく考える クリティカルシンキング練習帳 (名古屋大学出版会)」である。都合の良いことに、扱っている内容は医療に関する科学技術が多い。例えば、「喫煙を認めるか否か」や「乳がん検診を推進すべきか」について、肯定と否定の両意見が述べられており、それだけで十分に面白い。さらに、両意見を吟味し、自分の評価・考えをまとめるクリティカルシンキングの手法・解説も記されており、自然と前述の二通りの「考える」機会を与えてくれる書籍である。

この執筆においてもできるだけ努力してきたつもりではあるが、「もう少し上手に『伝わる』文章を書きたい。」と常々感じている。そんな私に、最近、アドバイスをくれたのが、池上彰さんの著書「伝える力 (PHP ビジネス新書)」であり、ジャンルを問うことなく「小説」を読むことを薦めている。小説は、伝えたいことのイメージを読者に喚起させ、膨らませる趣向をこらしているためである。まさに小説の類をあまり読んでこなかった私への的確な助言と感じている。文章力を高める、会話力を高めるといったことに興味がなかった方でも、読みやすく伝わってきやすいタイトル通りの書籍である。

薬剤師になると患者のみならず医師や看護師らに「伝える」場面が多々ある。当然だがググった (Google で検索した) 情報をそのまま横流しするだけではいけない。得た情報は目の前の患者にも当てはまるか、リスクマネジメントの観点、相手の理解能力などから、何をどのように伝えると相手にとって良いかを考える。薬学をベースに考えをまとめ伝えるように工夫する感性や技術を磨くために、薬剤師は医薬品情報学を学ぶ必要がある。実践に向けて医薬品情報学の知識を幅広く取り扱っている書籍としては「みてわかる薬学 図解医薬品情報学 改訂3版 (南山堂)」をお勧めする。薬の知識とともに、情報の取り扱い方への意識も育ててもらいたい。

書名	著(編)者名	出版者
化学便覧 第7版 応用化学編	日本化学会	丸善出版
薬学生・薬剤師のための英会話ハンドブック 第2版	原博他	東京化学同人
What is chemistry?	Peter Atkins	Oxford University Press
興味が湧き出る化学結合論	久保田真理	共立出版
生命科学のための物理化学 第2版	Peter Atkin他	東京化学同人
有機スペクトル解析: MS・IR・NMR データを読む	臼杵克之助他	丸善出版
無機化学: 基礎から学ぶ元素の世界	長尾宏隆他	裳華房
ヘテロ環化合物の化学	中川昌子	東京化学同人
環境分析化学	中村栄子他	裳華房
オックスフォード生物学辞典	Robert S. Hine他	朝倉書店
医薬系のための生物学	丸山敬他	裳華房
Essential cell biology 4th ed.	Bruce Alberts	Garland Science
死の自己決定権のゆくえ	児玉真美	大月書店
マウス解剖イラストレイテッド 改訂版(細胞工学別冊)	野村慎太郎他	学研メディカル秀潤社
図解漢方処方のトリセツ: 生薬の働きから読み解く	川添和義	じほう
もっとよくわかる! 幹細胞と再生医療(実験医学別冊)	長船健二	羊土社
人体解剖の基本がわかる事典: カラー図解	竹内修二	西東社
ビタミンKと疾患: 基礎の理解と臨床への応用	岡野登志夫	医薬ジャーナル社
病態生化学解明	藤森功	京都廣川書店
クーパー生物物理化学	Alan Cooper他	化学同人
ヴォート基礎生化学 第4版	D. Voet他	東京化学同人
はじめの一歩のイラスト薬理学	石井邦雄	羊土社
病原微生物学: 基礎と臨床	荒川宜親他	東京化学同人
薬の影響を考える臨床検査値ハンドブック 第2版	木村聡他	じほう
薬学生のための病態検査学 改訂第2版	三浦雅一	南江堂
薬剤師のための臨床思考カトレーニング	Pharm. D. クラブ他	南山堂
薬剤師に必要な患者ケアの知識 改訂総合2版	木村健	じほう
明日から取り組む病棟業務とチーム医療	村山純一郎他	じほう
薬局がはじめる在宅医療ポケットガイド	土田孝他	南江堂
ナラティブ・ベイスト・メディスン入門	市山康暢	遠見書房
NSTのための疾患診断・治療と臨床検査の基礎知識	田中明他	建帛社
糖尿病(保険薬剤師のための疾患別Q&A 1)	北海道医薬総合研究所	北海道医薬総合研究所
SGLT2阻害薬のすべて	稲垣暢也	先端医学社
高齢者ケア必携よく使われる薬ハンドブック 第2版	岩川精吾他	中央法規出版
骨研究最前線	大藺恵一他	エヌ・ティー・エス
こころの治療薬ハンドブック 第9版	山口登	星和書店
予防接種の手びき 第14版	木村三生夫他	近代出版
感染制御標準ガイド	尾家重治	じほう
この薬、こどもに使ってはいけません!	浜六郎	ジャパンマシニスト社
医療薬学 第6版	堀了平他	廣川書店
内科学書 改訂第8版	小川聡総	中山書店
チャートでわかる! がん外来化学療法のリアル	聖マリアンナ医科大学病院腫瘍センター	南江堂
ここがツボ! 患者に伝える皮膚外用剤の使い方 改訂2版	段野貴一郎	金芳堂
向精神薬と妊娠・授乳	伊藤真也他	南山堂
食品機能学への招待 新版	須見洋行他	三共出版
EBMのための臨床疫学 増補版	縣俊彦	中外医学社
薬事統計の実践: 理論と事例, たくさんの演習	波多江崇	京都廣川書店
臨床現場で実践する薬学研究のススメ	澤田康文	南山堂
カラー図解よくわかる改正薬事法 医薬品販売制度編	ドーモ	薬事日報社
くすりの害にあうということ	医薬ビジランスセンター	医薬ビジランスセンター

(化学・医学・薬学分野より一部抜粋)

『捏造のロジック 文部科学省研究公正局・二神牙希』

喜多喜久 著 宝島社

二年前に論文捏造疑惑で日本中を騒がせた”PAX 細胞”についての論文が今になって再び投稿された。一体誰が、何のために?この難題にクビ寸前の研究員・円城寺とキレ者役人・二神牙希がコンビを組み、真相解明に迫っていく。データ改竄は科学の最大の罪であるにも関わらず、どうして論文捏造、研究不正が起こるのか?本書を読めば、この答えがわかるかもしれません。最後に皆さんにお尋ねします。「あなたはサイエンスを愛していますか?」

(NT)



『東大生が書いた議論する力を鍛えるディスカッションノート』

吉田雅裕 著 東大ケーススタディ研究会 編 東洋経済新報社

皆さんは、ディスカッションで自分の意見を隠せず、伝えられますか?就活でのグループディスカッションをはじめ、日常での集団的コミュニケーションにおいても応用できる実践的な「ディスカッションの方法論」をまとめた1冊です。これまでにあまりなかった、議論の進め方、議論への貢献方法、集団における振る舞い方などケーススタディを通して有意義に学び、社会に出て役立つコミュニケーション能力を高めましょう!

(M)



『横道世之介』

吉田修一 著 文春文庫

2013年に映画化された青春小説の金字塔です。大学進学を機に上京した横道世之介は、飄々としながらも愛すべき人格の持ち主で、さまざまな人と出会い関わっていきます。友人の結婚と出産、お嬢様との恋愛、カメラとの出会い…。思わず笑ってしまうところもある温かい作品です。最後の結末も込みで、この作品なのだろうなあと思いました。することがたくさんあって忙しい薬科大生活ですが、人生楽しもうと改めて思える作品です。

(M.H)

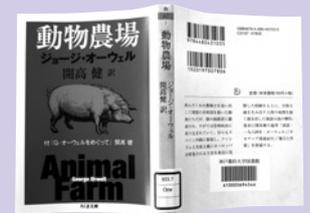


『動物農場』

ジョージ・オーウェル 著 開高健 訳 ちくま文庫

想像してみてください。動物だけで経営する農場を!農場で飼われていた動物たちは自由と権利を求めて農場主を追い出し、理想の共和国を築きます。しかし、豚の独裁者によっていつのまにか全体主義や恐怖政治に変質してしまい…。ファシズムを批判した1945年の作品ではありますが、ユーモア溢れる寓話で、読みやすいです。現代に当てはめても、考えさせられるものがあります。是非、読んでみてください!

(M.S)



『注目すべき125通の手紙 その時代に生きた人々の記憶』 ショーン・アッシャー 編 北川玲 訳 創元社

女王陛下、作家、俳優、市井の人々、懇願、激励、ラブレター、時代や場面も様々な実際に生きた人々の突き動かされた思いが原文と解説、写真によって胸に迫り、鼓動が激しく打つように引き込まれる。現代の恵まれた日常では触れる事の少ない人々の生命迸る輝きと闇を『手紙博物館』として、編者は実に人間に対して愛情深く丁寧に世に送り出した。静寂な時間に心揺さぶられる博物館である。

(H)



『闇の中の男』

ポール・オースター 著 柴田元幸 訳 新潮社

「9.11」が起きなかったアメリカは、なぜか内戦に突入している。異なる世界で否応なく戦いに巻き込まれた男と不眠症の老人の関係は? 錯綜する複数の世界に迷い込み、その心もとなさを楽しむことこそオースター作品の醍醐味。まるで来るべき未来を予見していたかのような過酷な戦争の描写もありますが、ユーモアも愛もいっぱいこの本で、ぜひ世界情勢や大切な人に想いを馳せてください。初オースターにもお勧めです。

(S.N.)



書くことで見えてくるもの

—読書マラソンのススメ—

本を読んで感想を人に伝える。読むだけでも大変なのに、感想まで…。それを楽しいという学生二人に話をきいてみました。

本は自分で体験できないことを自分に感じさせてくれるもの

まずは、一冊読むごとにPOP（感想）カードを書き、在学中に1000冊読破を目指すという「読書マラソン」の参加者で初の1000冊読破を達成した6年生のペンネーム日和見主義さん。現実でないことを疑似体験できるのが本を読む理由だといいます。

1000冊達成おめでとうじゃないですか。
参加してみてもいいですか？

「一冊一冊感想を書いていくと、自分がこんな風に捉えていたんだなど、今度も一回読んだときに感想を比べたりして、捉え方が変わるとか発見して結構面白かったりします」



POPカードは100枚ごとに製本して返却しています。読書の記念に

忘れられない本ってありますか？

「『キリンと暮らすクジラと眠る』です。もともとほのぼのとした、ふんわりした話だけどちよつと面白いとか、皮肉が効いた話が好きなんで、その中で、印象に残った本で、最後の最後（1000冊目）これにしよう」と

読書マラソンに参加したきっかけは？

「もともと本が好きなのと、本好きの友達と一緒にやってみようかとなって。最初は景品目当てでしたが、だんだん一冊ずつ感想書いていくのも楽しいかなくなってました」

いつ本を読んでいますか？

「学校へ行く通学時間とか、休み時間。勉強はこれくらいにしようってノルマみたいなものがあるって、その空き時間で読んだり。息抜きが読書だった、という感じですね」

他の人のPOPカードを見ることはありましたか？

「見ました。同じ本でも感想や捉え方が全然違って面白いと思います。次この本読んでみようと思うこともあります」

あなたにとって本とは？

「やっぱり自分で体験できないことを自分に感じさせてくれるものかなと思います。本を読むのを嫌いな人は嫌いだと思うんですけど、探して自分に合う一冊はあると思うので、POPカードを見て、その本を手にとってもらえたら本好きの私はうれしいです」

自分の中に言葉が増えるのは楽しい

全国大学生生活協同組合連合会主催、朝日新聞社協力で行われた「第10回読書マラソン」コメント大賞

全国の大学生が応募した6015点のPOPカードの中から次点の銀賞に選ばれた4年生の栗林由布子さんは、本を読むことで、自分の中に言葉が増えるのは楽しいと語ってくれました。

受賞おめでとうじゃないですか

「すごいびっくりして。賞品がいいなと思ってたんですけど、とれるとは思ってなかったです」

受賞作は江國香織の詩集『すみれの花の砂糖漬け』の感想文ですが、日本人の作品を読むことが多い？

「そうですね。江國香織、伊坂幸太郎、石田衣良、福岡伸一とかも。この本がきっかけで谷川俊太郎を読んだり」



図書館で読めます
『すみれの花の砂糖漬け』
『生物と無生物のあいだ』

本との出会い。本を読む時間。

「すみれの花」は、バイトに行くのに15分くらい電車に乗るんですけど、帰りに読む本がないと思って、駅の近くの本屋さんでたまたま見つけて衝動買いしたのが面白くて。本はバイトの行き帰りや、好きな本だったら寝る前、勉強の合間とかに気晴らしで読んでたりします」

今まで読んだ中で特別な一冊は？

「福岡伸一『生物と無生物のあいだ』です。中高生のとき翻訳家になったかっただけです。自分の中で置き換えて別の言語にするのがすごい良いと思ったし。翻訳家は英文科行かないとなれないと思ってたんですけど、福岡さん、生物学者で、翻訳もやってるんですね。そういうのもいいなと思って、理系に対する偏見がなくなったきっかけではあります」

本は必要不可欠という栗林さん。同級生のみなさんへひとこと。

「みんな電車の中でスマホ見ってますけど、あんまりかっこよくないし、そういう時間があるなら本を読んだ方が楽しいと思う。自分は一回しか生きられないけれど、本を読んだら他の一生を最初から最後まで読むこともできますし、会ったことない人の考えを知れる。視点がかわると思います」

二人とも読書への思いや、時間を有効に活用している姿が印象的でした。あなたも図書館で新たな読書の第一歩を踏み出しませんか。

100冊読破を目指そう!

皆に本を紹介し、感動を伝えよう!

読書マラソンの参加者募集中です!!

まずは
図書館で
エントリー



スタンプをためて、プレゼントをゲット!

本が書架(棚)に並ぶまで

あなたが図書館で手にする本はどのようにしてそこまで辿りついたのでしょうか？
ここではあまり知られていない図書館の本が書架(棚)に並ぶまでをご紹介します。



① 選書

出版社の新刊案内やパンフレットなどを元に購入する本を選びます。専門的な本は先生から意見をいただきます。他にも、左ページで紹介した「読書マラソン」の感想文を参考にしたり、利用者自身が選ぶ「学生Web選書」、「購入希望」によっても購入します。



② 発注・受入

図書館システムで発注用のデータを作り、書店に発注します。本が届いたら、間違った本ではないか、ページが破れていないかなど、異常がないかしっかりチェックします。



④ 装備

蔵書印の押印、バーコード・ラベルなどを貼り付けます。ここまでくればもうひと息です。



③ 目録

著者名や出版社など本の情報を図書館システムに登録します。この情報を元に、ホームページの「蔵書検索(OPAC)」で本を探すことができるようになります。



蔵書検索 (OPAC) 画面



⑤ 配架

ここで書架に並びます。あとはあなたが手に取るのを待つばかりです。

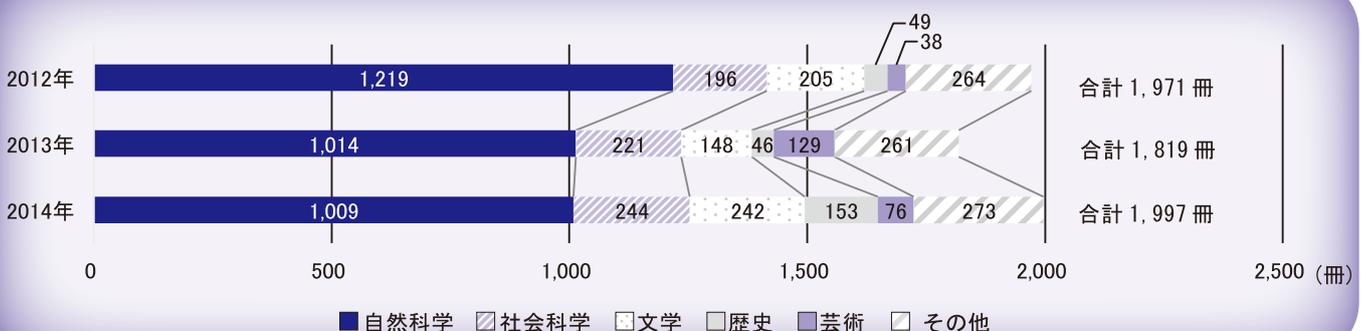
いかがでしたでしょうか。

一冊一冊、このような行程を経て本は図書館の棚に並んでいます。館内入口近くには「新着図書コーナー」がありますので、新しくいった本を読みたい方はぜひ定期的にチェックしてみてください。

わからないことがあればお気軽にカウンターにお尋ねください。

グラフと表で見る 図書館統計

新着図書のジャンル(分類)について



2012年からの3年間に新しく受け入れた図書の、ジャンル(分類ともいいます)内訳をご報告します。どの年も半数以上を「自然科学」が占めています。「自然科学」とは医学・薬学をはじめ、数学や化学などいわゆる理系分野の総称で、図書館では入門書から専門書まで数多く受け入れています。次に多いのは「社会科学」と「文学」です。「社会科学」は政治・経済から民俗学まで網羅する幅広い分野であり、時事問題を扱う図書も随時揃えている結果です。「文学」は文字通り小説・エッセイなどの文学作品。学生Web選書で小説がたくさん選ばれたこともあり、これが始まった2014年はこの3年間で最も「文学」の冊数が多い年になりました。

薬剤師のためのDI資料 29

「薬と検査2014 薬物治療&服薬指導プラクティカルガイド」

「薬局」2014年3月増刊号 南山堂

チーム医療の推進の一環として、平成24年度の診療報酬改定で“病棟薬剤業務実施加算”が新設された。医政局通知で定める病棟薬剤業務の一つに“薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方方を提案すること”が明記されている。地域のチーム医療における薬剤師の役割も同様で、薬剤師には個々の患者に対する最適な薬物治療を実践するために、処方関与への期待が大きくなっている。本書は、悪性疾患を除く88の疾患・症状別に「診療情報の読み方・とらえ方」と「薬物治療と薬学管理」で構成されている。「診療情報の読み方・とらえ方」では、診断に必要な検体検査、生理検査、造影検査などが

適宜図表を用いてわかり易く解説されている。「薬物治療と薬学管理」では、エビデンスに基づく最新の薬物治療の解説に始まり、処方鑑査や服薬説明に必要な情報や特に注意すべき副作用、相互作用が簡潔にまとめられている。血中濃度管理が必要な薬剤や腎機能低下時の用量調整に関する情報等も必要に応じて掲載されている。さらに、臨床で遭遇する処方例に関する服薬説明、保険適用外の薬物治療に関する情報が盛り込まれており、実際の医療の最前線にも焦点を当てている点が注目される。

教授 杉山 正敏
(薬学臨床教育センター)

2015年度学術雑誌について

●新規購読

(和雑誌)

【1】がんサポート(以後、一般雑誌扱いで購読)

(洋雑誌)

以下6タイトル(Elsevier社)について、Pay Per Viewによる利用を認める。

- Cell Metabolism
- Journal of Immunological Methods
- Journal of Organometallic Chemistry
- Molecular and Cellular Endocrinology
- Neuron
- Trends in Plant Science

●電子ジャーナル購読からPay Per Viewによる利用へ移行

【1】 Journal of Infection and Chemotherapy
(版元変更のため)

●電子ジャーナルのみの購読へ移行

【1】 Journal of Pharmacological Sciences
(オープンアクセス)

●電子ジャーナルコンソーシアム参加

- 【1】 American Chemical Society (継続)
- 【2】 Wiley-Blackwell (継続)
- 【3】 Nature (継続)
- 【4】 Oxford University Press (継続)
- 【5】 Rockefeller University Press (継続)
- 【6】 Science Online (継続)
- 【7】 ScienceDirect (継続)
- 【8】 SpringerLink (継続)
- 【9】 Thieme (継続)
- 【10】 Royal Society of Chemistry (継続)

各コンソーシアムによって年毎に利用できるタイトルが変更されることがあります。

お知らせ

- 電子ブックにNew タイトル「Comprehensive Organic Synthesis. 2nd ed.」が加わりました。
- 「ダ・ヴィンチ」「SAVVY」「MORE」3誌の購読を開始しました。購読に際しては、事前投票の結果を参考とさせて頂きました。ご協力ありがとうございました。
- 学生自身が図書館の資料を選ぶ「学生Web選書」を実施し、計87冊の資料を受け入れました。
- 3階書庫にブックスタンドを設置しました。製本雑誌を利用の際にぜひご活用ください。
- 3階利用者用コピー機が新しくなりました。